

## 研修No. 9

## 2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

|               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| 報告書提出年月日      | 2023 年 3 月 29 日                   |
| 研究・研修課題名      | 日本臨床薬理学会認定治験コーディネーター資格取得・更新のための研修 |
| 研究・研修組織名（所属）  | 臨床研究センター治験管理部門                    |
| 研究・研修責任者名（所属） | 川端奈緒美（臨床研究センター治験管理部門）             |
| 研究・研修実施者名（所属） | 川端奈緒美 村上正樹（臨床研究センター治験管理部門）        |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 成果区分            | <input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格<br><input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果（ ） |
| 該当者名（所属）        | 臨床研究センター 治験管理部門  |
| 学会名（会期・場所）、認定名等 | 第 29 回臨床薬理学講習会（2022/12/4・オンライン）<br>認定名：日本臨床薬理学会認定CRC   |
| 演題名・認証交付元等      | 日本臨床薬理学会   |
| 取得日・認定期間等       |  |
| 診療報酬加算の有・無      | <input type="checkbox"/> 加算有（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 加算無  |

## 目的及び方法、成果の内容

## ①目的

治験は国際的な合意に基づいて定められた基準であるGCPを遵守して実施しなければならない。学会が認定したCRCとして、その専門性を発揮し、質の高い治験業務を遂行することにより、適正な治験の実施を推進することが求められており、現在、治験管理部門では2名が認定を取得している。認定CRCの資格取得・更新のため、日本臨床薬理学会学術総会、臨床薬理学講習会に参加し、必要単位を取得することを目的とした。

## ②方法

認定更新に必須となっている学術総会・講習会に参加し、更新に必要な100点の内、10点を取得する。

第29回臨床薬理学講習会（2022/12/4）にオンライン参加した。なお、第43回日本臨床薬理学会学術総会（2022/11/30-12/3）は現地開催のみとなったため、Web参加での申請だったため現地参加はできなかったが、要旨集での情報収集を行った。

## ③成果

講習会への参加により、がん領域に関する最新の知見を得ることができた。

がん薬物療法の基本と新薬、分子標的治療薬の副作用とケア、がん遺伝子パネル検査の現状、がんの臨床試験を受けている患者を診るスタッフが知っておきたい抗がん薬の有害事象の評価など、すぐに役立つがん治療の知識や最新情報を第一線のエキスパートの先生に解説していただいた。最近、抗がん薬の治験が増えており、関連する最近の話題について知ることができ、大変有意義であった。今回得た情報を今後の治験に活かすと共に、他のスタッフへ報告することで、臨床研究センター治験管理部門全体の資質向上に寄与できたと考える。